

自民党  
横浜市議員（磯子区）

# 山本 たかし



磯子まちづくり  
全力投球

## 誠実に実行 未来に責任

### 政務調査NEWS

平成27年9月号

発行編集責任者  
**山本たかし事務所**  
〒235-0007  
横浜市磯子区西町10-16  
東和根岸ビル102  
TEL: 045-349-2107  
FAX: 045-349-2108

## 「地方創生」を考える ～津南キャンプ～



8月8日(土)～10日(月)、2泊3日の行程で、『ふれあい津南一学校に泊まろう!自然体験』キャンプを行うため新潟県中魚沼郡津南町を訪問しました。津南町の「津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定会議」による地方創生プログラム(都会との交流をすすめる会)の一環としての観光、就業支援事業です。この事業には政府がすすめる地域経済再生をめざす『地方創生プログラム』に沿った交付金を活用しています。急速な少子高齢化、人口減少社会が到来する中、過疎化がすすむ地方の挑戦に学びました。

## より積極的な「地方創生」へ。「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」決定

安倍内閣は、平成27年6月30日の臨時閣議で地方経済再生を通じ人口減少の克服をめざす対策として「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を決定しました。地方創生に意欲的な自治体に対しては「**新型交付金**」を配分するほか、**都市部の高齢者に地方移住を促す「日本版CCRC」構想**、官民一体で観光地と地域資源の**一体的なブランド開発を支援する「日本版DMO」**の形成などが柱となっています。平成28年度予算編成に反映させていきます。

地方経済の低迷の背景には、東京圏への若者の流出による**人材不足や生産性の低さ**にあると指摘されており、平成32年までに地方で**30万人分の若者の雇用を創出する「総合戦略」**の目標達成に向け、平成28年度から事業を本格化させていきます。

基本方針の目玉となる「**新型交付金**」は、先駆的な取り組みを実施する自治体に自由度の高い予算配分を実施します。また、急激な高齢化に直面し、十分な医療や介護が受けられなくなる東京圏在住の高齢者に対し「**日本版CCRC**」構想を盛り込むとともに、少子化対策としては地域単位での出生率や働き方の指標を作成します。また、地方経済再生には、地域雇用を担う中小企業の生産性を高める支援の他、「**日本版DMO**」を5年間で**全国に最大90か所設置する方針**が打ち出されています。

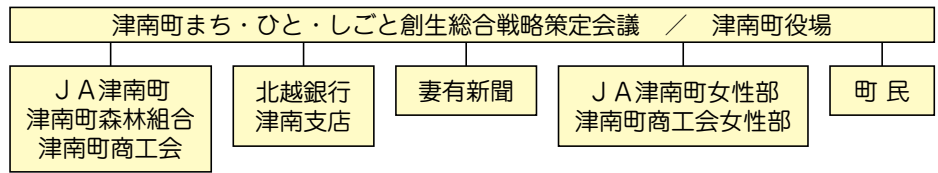
※日本版CCRCとは……米国発祥の暮らしの考えかた。「継続的なケア付き、リタイアメントコミュニティ」の略。高齢者が健康で自立しているうちに入居し、社会活動に参加し、医療や介護などのサービスが必要となった場合には、サービスをうけながら暮らし続けることができる。日本では、都会で十分な介護や福祉サービスが受けられない高齢者が健康なうちに都会から地方へ移住し地方で活躍してもらえるようにしようと考えている。

※日本版DMOとは……地域全体の観光マネジメントを一本化する、「着地型」観光のプラットフォーム組織。日本では、行政、観光業者、地域住民らの立場によって分断されているのが現状であるが、地域観光を取りまく環境は大きく変化してきている。具体的には、情報の流れやサービスの質的变化をはじめ、団体旅行から個人旅行へと旅行形態も変化してきている。団体旅行では、旅行会社などが送客してくれる観光客に対し、地域の事業者や市町村の観光協会が対応する、「発地型」の仕組みが一般的だが、近年は、多様で個別化したニーズを抱えた個人客が増え、イベント中心の旧来の受入体制では、それらニーズに対応しきれなくなっている。地域が自ら商品(サービス)を開発し、ワンストップ窓口で観光客を集客し、もてなす「着地型」の取組が求められており、「着地型」観光マネジメントを通して、就業・雇用機会が創造される可能性がある。

地方創生をめざす事業スキームはさまざまですが、交付対象からは2種類の区分があります。「地域消費型・生活支援型」と「地方創生先行型」があり、神奈川県や横浜市が行っているプレミアム商品券、旅行券などは、個人需要を喚起させることで、地域活性化を図ろうとするものであり、津南町はじめ人口減少や過疎化がすすむ地方では、定住推進をめざす創業支援、観光振興に注力しています。

### 【地域住民生活等緊急支援のための交付金メニュー】

| 交付対象  | メニュー例  |
|---|--|
| <b>地域消費喚起・生活支援型</b><br>地域における消費喚起策やこれに直接効果を有する生活支援策 | ①プレミアム付商品券(域内消費)<br>②ふるさと名物商品券・旅行券(域外消費)<br>③低所得者等向け商品・サービス購入券<br>④多子世帯支援策   |
| <b>地方創生先行型</b><br>総合戦略における「しごとづくり」などの事業             | ①「地方版総合戦略」の策定 ②U・I・Jターン助成<br>③地域しごと支援事業など ④創業支援・販路開拓<br>⑤観光振興・対内直接投資<br>⑥多世代交流・多機能型ワンストップ拠点<br>⑦少子化対策(地域消費喚起型対応等を除く) |



## 地方創生へ挑戦「津南町」

津南町議会議員 恩田 稔 議員に聞く



人口10,000人の津南町も、消滅自治体としての危機感があります。日本有数の米どころである津南町は、毎年3mを超える豪雪地帯としても有名であり、また今年、苗場山麓ジオパークにも認定されました。観光資源が豊富な津南もその資源を十分活用できず、年々活力が失われつつあります。津南町で町議会議員をされている恩田稔議員は、生まれ育った三箇地区にある「三箇小学校」が少子化の影響で、津南小学校に統廃合されたことがきっかけで、『都会と交流をすすめる会』を立ち上げ、多くの都会の子どもたちとの交流をすすめてきました。今回、恩田稔議員と連携し、いそごの元気をつくる会では、『学校に泊まろう!自然体験』をキャッチフレーズに、『都会にない、自然と自由』を体感する津南キャンプを実施しました。ひまわり畑に迎えられた津南キャンプの宿泊場所は、120年の歴史ある津南町立三箇小学校。平成20年に津南小学校と統合されました。校舎は建替られてから15年ほどしか経っておらず、とても新しくきれいでした。じゃがいも掘りやジオパーク探検、縄文村、川遊びなど楽しみました。地元の方々が給食室を使つての手づくりの料理、校庭でのバーベキューや花火など夏の思い出をつくりました。近くに駅の温泉、湧き水を利用した竜神の温泉など、津南町の官民あげての“おもてなし”は、地方創生の日本版DMOの「着地型」観光プラットフォームそのものでした。恩田稔議員からお話を伺いましたが、津南はブランド米、『魚沼コシヒカリ』の原産地であり、百合の『カサブランカ』の全国一のトップシェアをもっています。今後はさらに、「津南の水」の開発販売やひまわりなど、資源を有効に活用する中で、継続的安定雇用につながる産業振興施策の推進が急務だとのこと。また、11万年前の地球の歴史に触れる苗場山麓ジオパークや火焰式縄文土器が今でも出土する地域など観光振興にはより一層取り組んでいきたいとのことでした。

いそごの元気をつくる会では、『いそごの元気力』は人であり、子どもたちです。これからも子どもたちが健やかに成長する町磯子、住み続けたい町磯子のまちづくりに全力投球していきます。当面、9月20日(日)～9月21日(月)1泊2日の『黄金のジパング、津南イネ刈り体験キャンプ』を行う予定です。乞うご期待!

産業振興 ウォータービジネス



見玉不動尊の清水



津南の水

観光振興 苗場山麓ジオパーク



秋山郷と中津川



苗場山麓ジオパーク石落とし

観光資源開発 ひまわり



就労支援・定住推進 稲作(魚沼こしひかり)



ブランディング 縄文文化



## 黄金のジパング 津南イネ刈り体験

参加者募集中!

◆期間／平成27年9月20日(日)・21日(月) ※根岸駅前出発

◆参加費／15,000円(交通費・宿泊費・食事代 夕食はBBQ) ◆募集人員／20名(小学生以上 おとなもOK!) 最少催行人員6名

申込み先

いそごの元気をつくる会(黄金のジパングプロジェクト)

TEL:045-349-2107 FAX:045-349-2108

申込みフォーム

フリガナ

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( 才 )

〒 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_ ☎ \_\_\_\_\_

保護者連絡先 氏名 \_\_\_\_\_ 緊急連絡先 \_\_\_\_\_